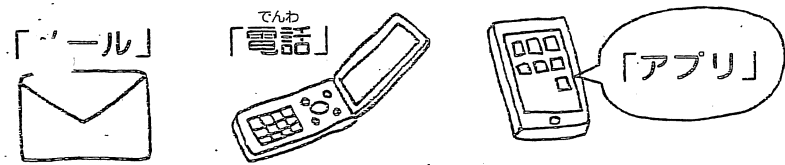


保健だより 2-1 保健委員

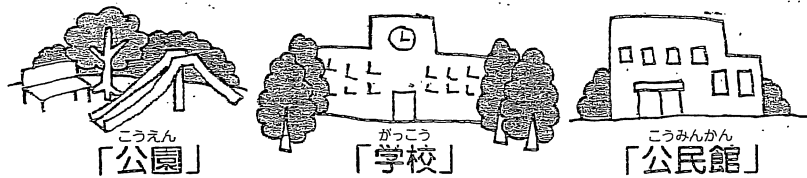


もしもに備えて
覚えておこう

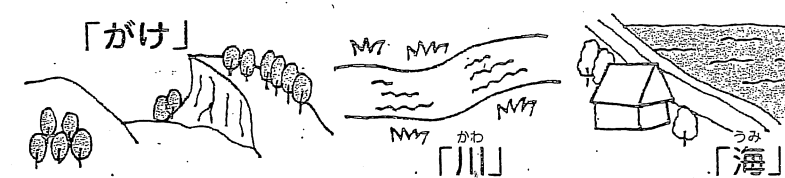
連絡をとりあう【手段】は？



はなれたときの【集合場所】は？



家のまわりの【危険な場所】は？



災害用伝言
ダイヤルは171

伝言を残したり
聞いてたりできる。

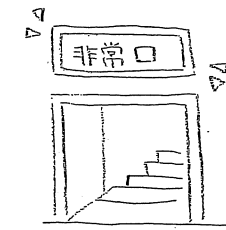


非常持出品チェック

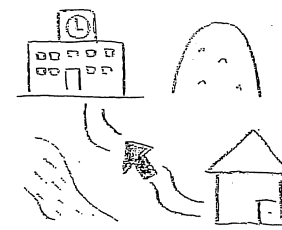
- 飲料水
- 食料
- 常備薬
- 懐中電灯
- ラジオ
- マッチ又はライター、ローソク
- 救急箱
- 下着・靴下
- 衣類
- 予備の電池
- 携帯充電器
- 軍手
- ポリ袋
- ヘルメット
- テッシュペーパー、ウェットテッシュ、タオル
- 保険証
- 貴重品(現金・通帳・印鑑・権利証等)

覚えておこう! 6つのポイント!

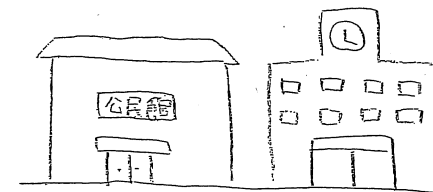
① 非常口



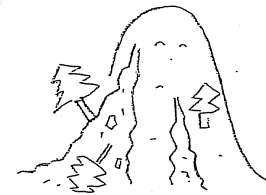
② 避難経路



③ 避難場所



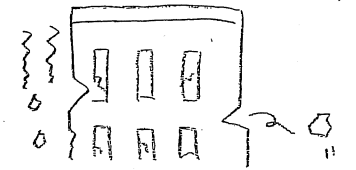
④ がけなど
崩れやすい場所



⑤ 川、河口、海の周辺

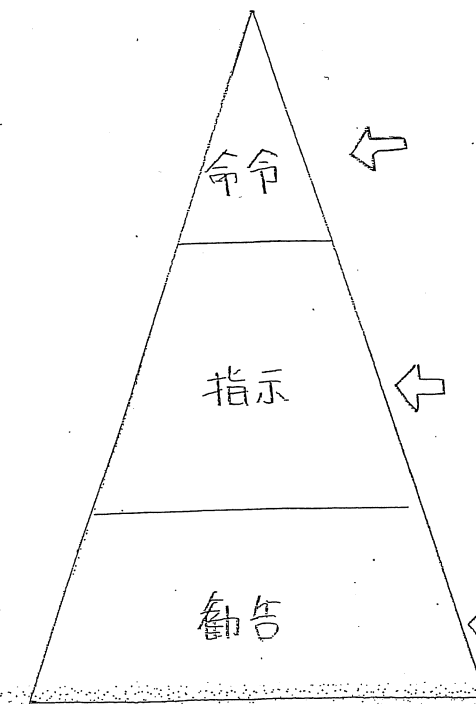


⑥ 倒れる、壊れる
危険がある建物



災害が起こったときいち早く安全な場所に避難する必要があるとき、なるべく冷静に、かつ急いで行動するためには、こうした情報面でも日頃から備えが欠かせません。6つのポイントを定期的に確認・アップデートしておきましょう。

知ってる? 避難レベル!



① 避難命令

明確な被害が間近に迫っている状況で、避難しなければ人命に大きくかかる場合。

② 避難指示

避難勧告後、さらに状況が悪化し広範囲で甚大な被害が予測される場合に出される。

③ 避難勧告

実際に災害が発生する前に、被害が生じる可能性が予想される地域に出される。